

入中3年人権だよ

徳島市 八万中学校
3年生 第21号
2021年12月13日
編集・文 吉成正士

3年生学年全体人権学習(12月1日) 第2部

何かを思って行動に移すことは素晴らしいこと

■今日の全体の人権学習を通して、私は小さな人間だと思いました。周りの子は自分の思ったことをみんなに伝えていたのに、私はそれに返すことができなかったからです。思うことはあっても、うまく言葉にできず、結局手を挙げることはできませんでした。そんな中、堂々と発表する人たちを見て、かっこいいなと思いました。そして本当にいろいろ思うことがあるんだなと気づきました。

私は人権学習は人のためにすることが大切だと思っていましたが、情けは偽りか、そうじゃないかについてのたくさんの人の意見を聞いて、やっぱり情けは偽りのものとか、そうじゃないとかはどうでもよく、何かを思って行動に移すということは素晴らしいことなんだと思いました。人のためでも自分のためでも、自分の心に正直に向き合い、思うだけでなく行動に移せる人は強い人だと思います。悪いと思ったら悪いと言う、間違っていると思ったら謝る、おかしいと思ったらおかしいと注意する。そんなことがきちんとできる人になりたいです。そしていつも、「おかしいこと」に、「おかしい」と私が気づくまで叱ってくれる両親に感謝し、先生方の思いに応えられる人になるために変わっていきこうと思いました。

1組MA

「うまく言葉にしよう」なんて思わないでください。あの日発表した人に訊きますが、うまく発表できたと思っていますか？私も含め、そんな人はいないんじゃないでしょうか。話し終わってマイクを渡したとき、「あー、こんなじゃない。言いたいことはもっとあった。ちゃんと伝わっただろうか。もっとうまく言えたら良かったのに」と思ったのではないのでしょうか。みんなうまくなんて言えないんです。



有名な研究論文にありますが、言葉で伝わる割合は3割くらいだそうです。残りの7割は、その人の表情や、目線、気持ちやジェスチャーから伝わるのだそうです。言葉にならなくても、思いが伝わることってあ

ります。言葉も大切ですが、言葉以上に大切なこともあるのです。そんな言葉にならない思いも、どうぞ大切にしてください。



面白くないし、苦痛な時間であって面倒くさい

■全体で人権学習をして、僕はこれから見える世界が大きくなると、それと比例し、差別されている人やしている人も多くなると思って、そういう人たちに「それはちやうやろ」など、している人には注意して、されている人とは一緒に乗り越えていこうと思う。だから人権学習は、そういう人を助けるためでもあるし、自分もされたりするかもしれないときに、相手に気づかせるためにするものだと思っ

た。人権学習を学んで、僕の近くにもいろんな差別で悩んでいる人が大人になるにつれて増えていくと思う。その人たちの助けになっていきたいし、逆にしている人も増えるから、その人たちには、「それは絶対したらあかん」「ほんなんしたらダメ」など、その人が差別をしないようになるまで言い続けようと思う。

僕は人権学習は、自分のためにするものでもあるし、これから会う大事な人を守るためにするものだと思う。人権学習は、最初の方は面白くないし、苦痛な時間であって面倒くさいと思いながらしていたけど、今は身近な人のため、差別をなくそうとする意思でしてました。人権学習会では発表をすることはできなかったけど、クラスではもっといっぱい発表して、自分の気持ち、自分のことを知ってもらいたいです。

吉成先生が言っていたように、高校でも人権学習を新たな友達に教えて引き継いでいきたいです。僕が大人になっても、「あの子、部落やけん遊んだらあかん」など、差別発言をせず、自分の子も差別をしない大人になり、どんどん子孫に伝えて連鎖をしたいと思います。

3組IS

たぶん、「差別が多くなる」のではなくて、「差別が見えてくる」のだと思います。「なかった」のではなくて、初めからそこに「あった」のです。ただ、見えてなかっただけ。学べば学ぶほど、見えてなかったもの

が見えてくるのです。見えてくるということは、それだけ人として賢くなった、ということではないでしょうか。

これからみなさんには、たくさんの新しい出会いがあるでしょう。その出会いをよい出会いにしてください。決して、「人権学習をしてないからダメ」とか、「人権について教えてやる」じゃなくて、仲間としてつながり、自分のした経験を語って行ってください。伝えることは、知っている者の務めです。上からあげるのではありません。共に歩んでいく、「水平」の仲間なのでから。



その人に申し訳ない

■最後の全体人権学習をして、みんなの意見が聞けたり、みんなの意見と自分の意見を比べたりしてみても、自分はまだ人権のことをあまり分かっていないなと思いました。

2組の山口さんの、「～へ」というやつで、私はとても共感しました。私も今、大好きなグループがいます。テレビなどに出ているとき、いつも親の前で見えています。親はそのグループを見るたび、「ブサイク」や「顔がデカイ」など、私の推しばかり悪口？を言ってきます。私も山口さんと同じで、そのグループのことをあまり良く言っていないでした。でも、今、親は何も言わなくなりました。昔、私は、他のグループなどを悪くではないけど、人の嫌がることを言っていたかもしれません。今は私は、推しているグループがあるので、何も言えません。その人には申し訳ないと思っています。

今回の全体学習で、いろんな先生の話聞いて、どの先生も差別を体験していてびっくりしました。だから私も、絶対差別について関わらないと思いました。私はこれから、全体人権学習がないので、次は個人で人権について考えたいと思います。この3年間で学んだ人権学習を忘れず、私の子供や姪っ子、甥っ子に、吉成先生が教えてくださったように教えようと思いました。人権学習を大切にします。

5組WK

個人で考えることは大切にしてください。自分の頭で考えることは大切です。でも、常に対話的な学びを大切にしてもらえればと思います。人から聞いたことをそのまま受けとめるということは、間違った情報もそのまま受けとめることになるので、自分の頭で考えることはとても大切なことです。でも、自分の頭だけで考えていると、どうしても偏りがちになってし

まうことがあるものです。だから、今回みんなで考えたように、いろんな人の意見や考えにふれることも大切にしてください。そうすることで、新たな発見や気づきも生まれてきます。「めんどくさいな」と思うかもしれませんが、講演会や研修会に参加することもオススメです。また、人権というジャンルにとらわれず、あらゆることを、人権の視点で見てみることもオススメです。意外と足元に、たくさん転がっているものですよ。「大好きなグループ」の話のようにね。

自分を認めることができた

■今日の全体人権学習で、たくさんの考えや思いを聞けて良かったです。その考えの中の、人の為は「偽」というのは、私は違うと思いました。人の為にすると言っても口だけで何も行動しないのは、「偽」になると思います。でも、人の為と言って行動を起こして、実際に相手のためになっているのなら、「偽」にはならないと思います。例えば、命の危険があると分かっているが、海外の戦地などで活動している人たちは、本当に人の為に行動している人だと思います。

また、私たちは誰のために人権学習をするのか、という質問に対して、私は自分を守り、そして人を傷つけないようにするためだと考えています。どちらの理由も自分のためです。でも、誰かが言っていたように、自分のためになることは人の為にもなるというのを聞いて、今までは自分のためという理由で良いのかと疑問に思っていたけど、この考えでも良いんだと自分を認めることができた。この考えをこれからも持ち続け、知識がなくて間違った考えを持っている人がいたら、正しい知識を堂々と教えられる人になりたいと思っています。 2組OK

自分の中でも考えるのですが、時として人は、「自分の中で考えたことがすべて」と思ってしまうことがあります。でもそれは、他の意見や考えにふれることで、ひっくり返されてしまうこともありますし、「これで良かったんだ」と、確信することもあります。やはり、対話することです。他の意見も聞くし、自分の考えも発することです。そうやって、互いに成長できていくのだと思います。

また、周囲が幸せでないのに自分だけが幸せということはありません。周囲が幸せであってはじめて自分も幸せを感じられるのではないかと思います。つまり、自分だけが良い状態は、本当に良い状態ではないということです。周囲が良い状態になってはじめて自分も良い状態になれるのではないかと思います。そう考えると、「人の為」は、「自分の為」につながっていくように思えます。

私からは敢えて何の答えも言いませんでした。それは、それぞれが考え、それぞれの答えを持てばいいと思うからです。でもこうやって、あるのかどうか分からない答えを、何が正しいのか分からないような答えを、みんなで考え合う時間が大切なのだと思います。